

第2次御前崎市総合計画が スタートします



照会 秘書政策課 ☎0537-1161



4月1日から新総合計画が始動

市がどんなまちを目指し、そのために誰が何をしていくかを示す「未来のまちの設計図」総合計画。平成18年に始まった「海と緑が さらり輝く 御前崎」を将来都市像とした第1次御前崎市総合計画が、平成27年度で終了することから、平成28年4月1日、10年先の御前崎市の未来に向けた「第2次御前崎市総合計画」がスタートします。

第1次総合計画の振り返り

第1次総合計画では、旧浜岡町と旧御前崎町の文化や産業などを、ひとつのまちとして一体化することから始まりました。人の関わりを通じ、地域ぐるみで豊かな人間性を育む多くの取り組みによって「自分たちの地

◆表1 平成27年度市民満足度調査の結果

順位	項目	
	満足度が低い	重要度が高い
1位	地域医療の確保	地域医療の確保
2位	公共交通ネットワークの整備	災害に強い防災体制
3位	市内商店への支援体制	子育てに適した環境づくり

域は自分たちでつくる」という意識が高まり、さまざまな分野で市民協働によるまちづくりが実現しつつあります。

一方、医療を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。平成27年度市民満足度調査で最も満足度が低く、重要度が高い項目には「地域医療の確保」が挙げられ、ますます地域医療の在り方が注目されています(表1)。

20年後も人口3万人を維持

今、日本は少子高齢化が加速し、御前崎市でも第1次総合計画で見込んだ平成27年度の総人口3万5900人に比べ、平成28年2月末の総人口は3万3534人と、人口減少が予想以上に進んでいます。

今回の第2次総合計画策定と連携し、市では、平成31年度までに成果を示す「御前崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。その中で掲げた人口ビジョンでは、平成47年度に人口3万人を維持することとしています。そのために、転出者が転入者を300人程度上回っている現状を10年後に均衡させ、現在1.72の合計特殊出生率を20年後には2.07にするなど、より具体的な目標を示しまし

た。この人口ビジョンに基づき、総合計画の最終年次である平成37年の人口を3万1275人と想定しています。

まちの主人公は「あなた」

主人公は市民の皆さん、その思いを実現するために描いた設計図が総合計画です。市民一人一人が主人公となるまちづくりのため、市では市民が参画した基本構想策定会議や、市民と市職員とのワークショップなどを重ねてきました。市民と行政が協力しながら策定した第2次総合計画は、話し合う中で生まれた将来のまちに対する夢や希望であふれています。一人一人がふるさと御前崎を愛し、共にまちづくりをしていきましょう。

Interview



将来都市像「子どもたちの夢と希望があふれるまち 御前崎」は、私たちが参加した基本構想策定会議で出た意見です。市民の意見が反映され、みんなで考えた計画だからこそ「一緒に頑張ろう」という気持ちが高まります。会議でいろいろと話し合う中で、改めて「このまちが大好きなんだ」と実感できました。

澤入利英子さん
(西側区)